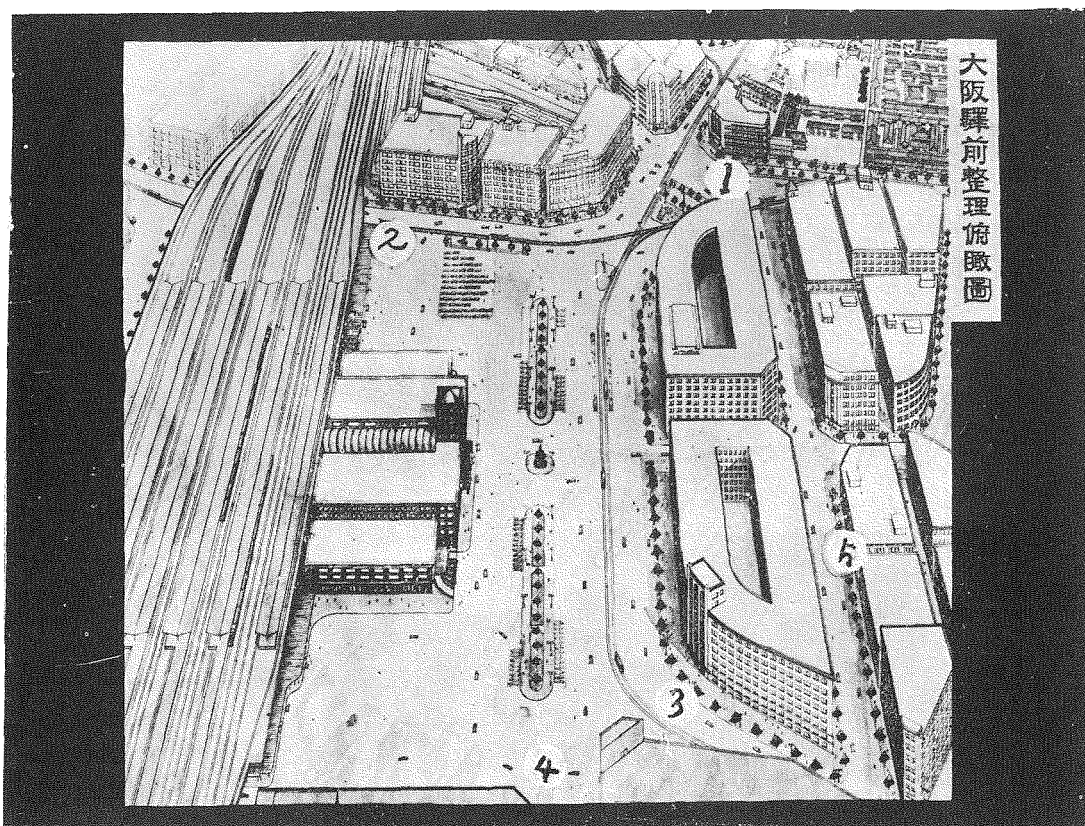




1

大阪市土木部の事業……(1)

街路の部

大阪驛附近整理事業(第1圖)

國有鐵道東海道線大阪驛の改築と、大阪都市計劃事業御堂筋線他四路線の新設改築に依つて近く現出さるべき大阪の支關口附近の偉觀を想定したのが本圖である。

左方が東海道線高架驛及大阪驛本屋、中央に面積約 4,500 坪の廣場と廣路となを挟んで右側の造成建築敷地に對することとなる。

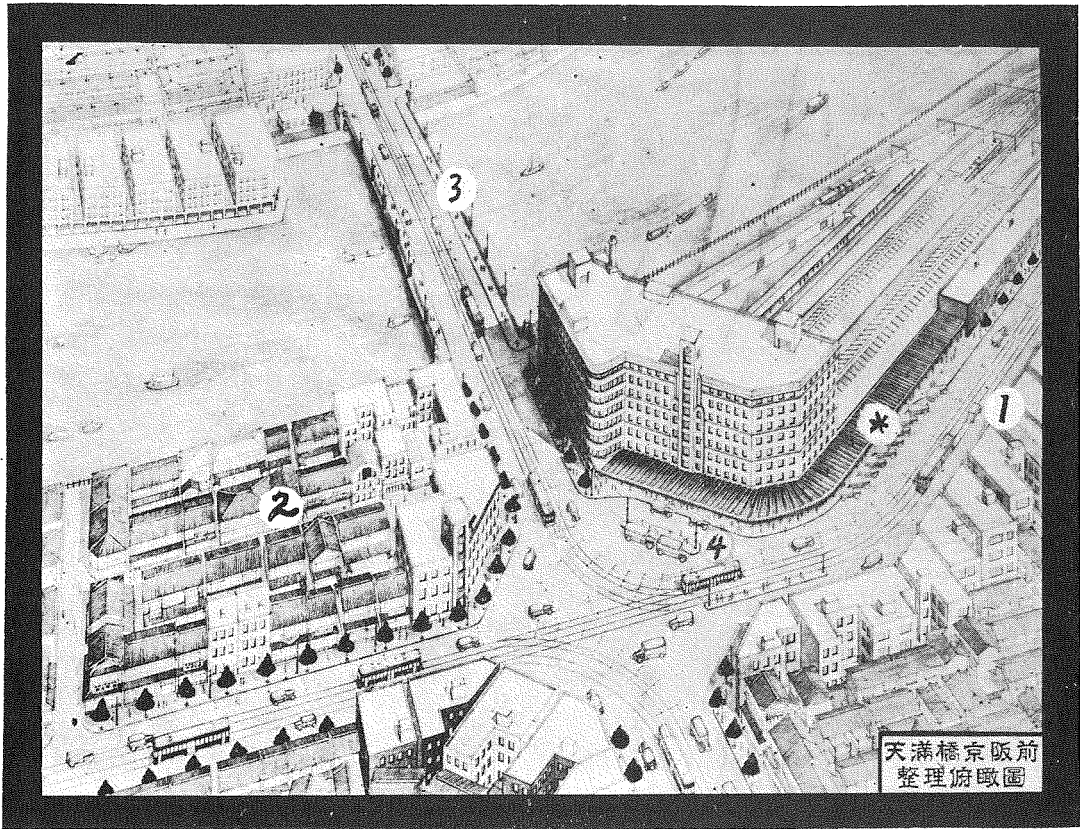
此の附近に於ける事業の概要は左の通である。(數字は寫真中の指示番號)

- ①御堂筋線(幅員24間乃至54間)
- ②梅田十三線(幅員15間乃至22.5間)

- ③角田町線(幅員12間)
- ④梅田九條線(幅員16間乃至26間)
- ⑤東梅田線(幅員12間)

驛前廣場地下に阪神電鐵梅田停車場を設く。御堂筋線及梅田十三線地下に高速鐵道を敷設し梅田停車場を設く。驛前廣場地下に幅員2間乃至6間の地下道七線を設く。整理建築敷地奥行57間、十字型街路(東西線幅員12間⑥南北線幅員15間)に依つて劃れたる四個の建築敷地を設く。此面積各1,100坪乃至2,200坪

驛前廣場には三ヶ所の大安全地帯、大阪驛專用自働車駐車場等を設く。



2

天満橋京阪電前整理(第2圖)

現に執行中の寢屋川附近都市計畫事業に伴つて施行せらるべき京阪電鐵天満橋驛及都市計畫事業天満橋の改築完成後を豫想したものが本圖で、これに表はされてある都市計畫事業の一斑は左の通りである
寢屋川附近都市計畫事業(數字は寫眞中の指示番號)

イ、①寢屋川線(幅員12間)

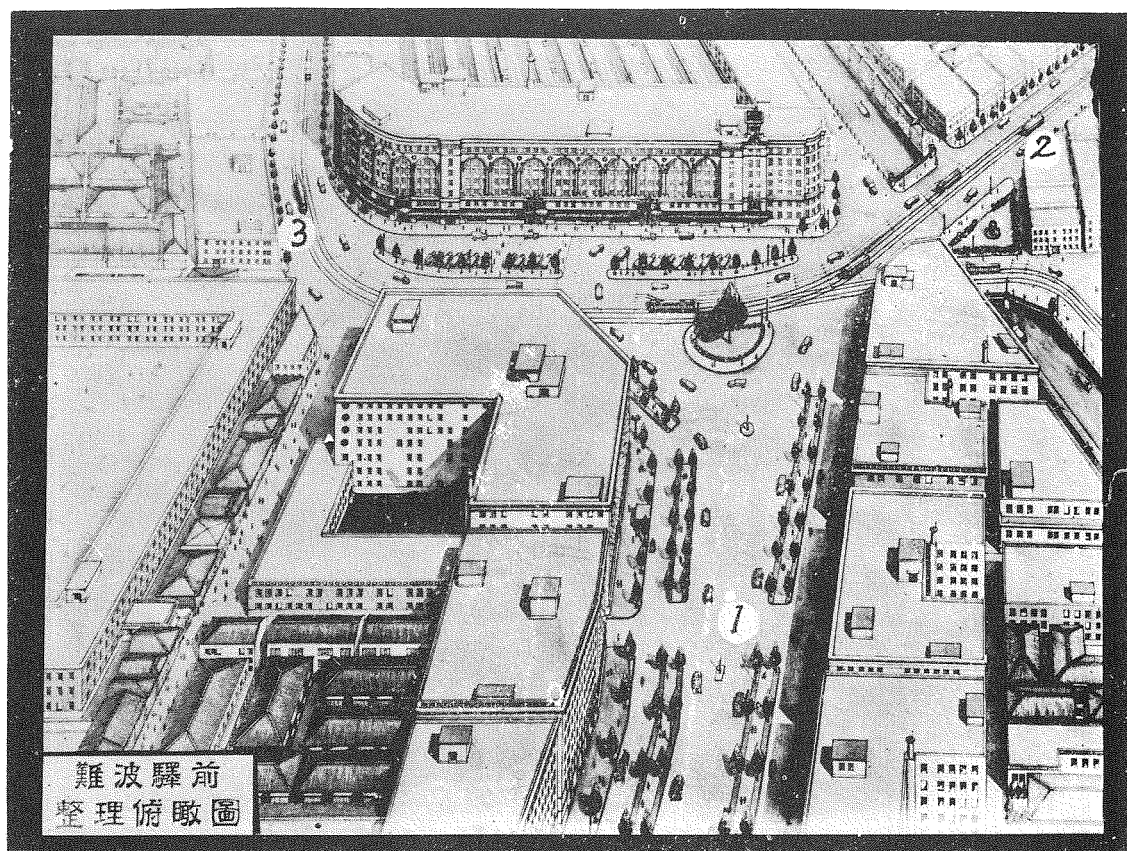
但し驛南側々面部は歩道を3間後退せしめて此處*印)に自動車駐車を設け、驛前附近に於ては突

通緩和の爲道路幅員を16.5間とす。

ロ、②建築敷地造成、舊寢屋川末流埋立地を造成宅地とする、此面積約9,800坪である。

③天満橋改築、ゲルバー式鋼桁三徑間の橋梁として改築する爲目下設計中。

④驛前附近、交通輻輳すべき驛前には幅員3間の副道を設けて自動車發着の便に資する外、安全地帯を設けて之を乗合自動車の乗降用並に、歩行者の爲快速車道横斷の便に資す。



3

難波驛前整理(第3圖)

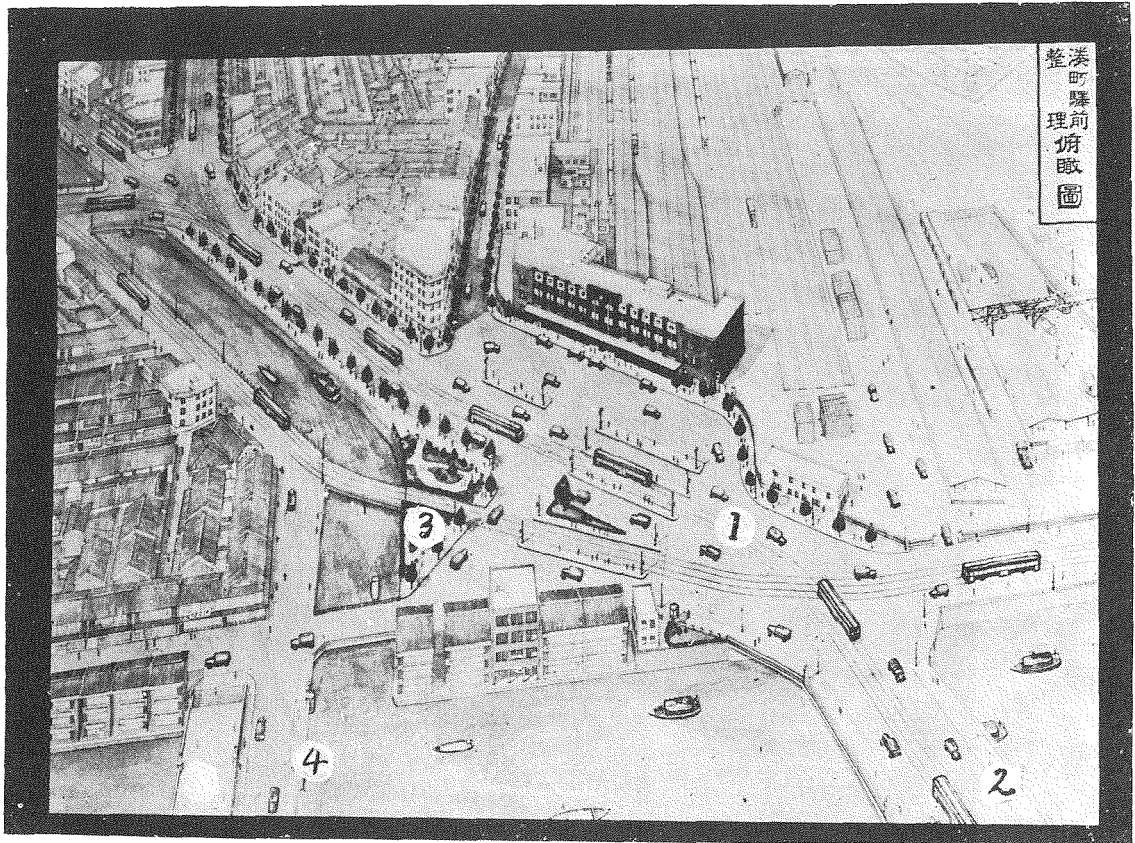
南海鐵道難波驛前附近は、都市計畫路線御堂筋線、難波住吉線、難波河原町線の他に、大阪の繁華街戎橋筋及千日前に通ずる街路が交會し、所謂『南大阪の玄關』を掌るものである。附近に於ける事業は左の通りである。

①御堂筋線(幅員24間)

②難波住吉線 幅員16間)

③難波河原町線(幅員22米)

驛前の路幅を33米とし④驛前面には幅員14米、面積に 1,600平方メートルの廣場を設けて驛に發着する自動車交通の便に供し、此の廣場と直通交通路を分離する爲には二聯の安全地帯を設く。御堂筋線を地下には高速鐵道を通し、驛前附近には高速難波停車場を設く。



4

湊町驛前整理(第4圖)

都市計畫事業路線西横堀線は、都市計畫路線湊町今宮線他四線の街路と國有鐵道關西本線終點湊町驛前附近に於て交會するが、此の交通輻輳ノ地點に湊町驛を背景とする一帯の整理事業が行はれる。附近の事業概要は左の通りである。

①西横堀線(幅員13間)

②同附屬橋梁、深里橋幅員13間、渡長 51.4米ゲルバー式鋼鈑桁。

③同附屬廣場(面積約540坪)

湊町今宮線、幅員11米。

尙驛前附近には歩行者の便を圖り、六個の安全地帯を設ける事になつてゐる。

④は都市計畫事業改築橋梁の一たる大黒橋(竣工)にして、

⑤は道頓堀川河動堰(工事中)である。

5



6



都市計畫街路

大阪都市計畫事業街路新設擴築に屬するもの44路線の中、全區間竣工せるもの10路線、一部竣工18路線 現在工事中のものは四路線である。此中、西横堀線、御堂筋線、北野線、長堀線、法園坂町線、城南線、鶴橋線、奈良街道線及紀州街道線に就ては昭和3年末の工事量報に掲げてあるが、其後竣工したものの中、梅田九條線及堀江玉造線を此處に掲げることとする。

梅田九條線（第5圖、第6圖）

西區九條通一丁目より北進して木津川に新に架設

する橋梁を渡り、東進して中之島を經、北へ大阪驛前附近に至る延長凡そ 2,050 間幅員16間の有軌道々路（今治竣工區間は現在其軌道）である。

寫眞は第二期工事區間と之に續く第四期工事區間たる肥後橋南詰——崎吉橋筋間を工事の前後に於て撮影したものである。本區間の概要は左の通りである。

竣工區間幅員16間。延長第二期工事區間184間、昭和4年8月竣工第四期工事區間594間、昭和6年3月竣工。舗装、歩道、コンクリート・ブロック。車道、木塊及シート・アスファルト。中央軌道敷は當分植樹帶とする豫定。

街路樹、プラタナス。

7



8

堀江玉造線(第7圖、第8圖)

西區千代崎橋の西詰を起點とし、千代崎橋（既掲出）を経て東へ東區本野町に至る幅員7間、總延長約2,250間の無軌道擴築街路である。第一期及第二期工事として南區上本町三丁目より東區本野町に至る區間が竣工した。寫眞は其中間東區餌差町附近の工事前後を比較したものである。（右側寺院は僧契沖の史蹟圓珠庵である）

竣工區間、幅員7間

延長第一期工事區間152間昭和5年9月竣工

第二期工事區間347間昭和5年12月竣工

舗装、歩道、コンクリート・ブロック

車道、舗装煉瓦、アスファルト・ブロック
街路樹、公孫樹。